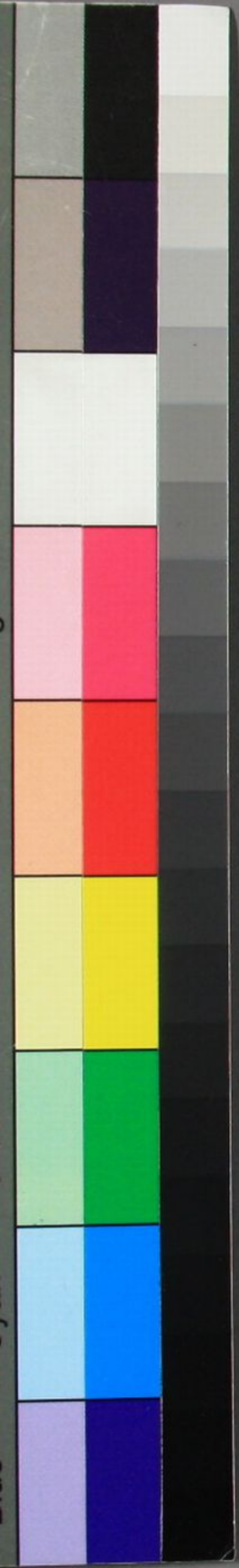


漢和

古今泉貨鑑

說論

十九二十





泉貨鑑卷之十九



元和寛永ノ頃ニ

御所ニ於テ花蝶定メト

イヘルコトアリシト云傳フ又越中富山ノ前田

家ニ於テ古錢ノ位階定メト云事アリ是ハ古錢

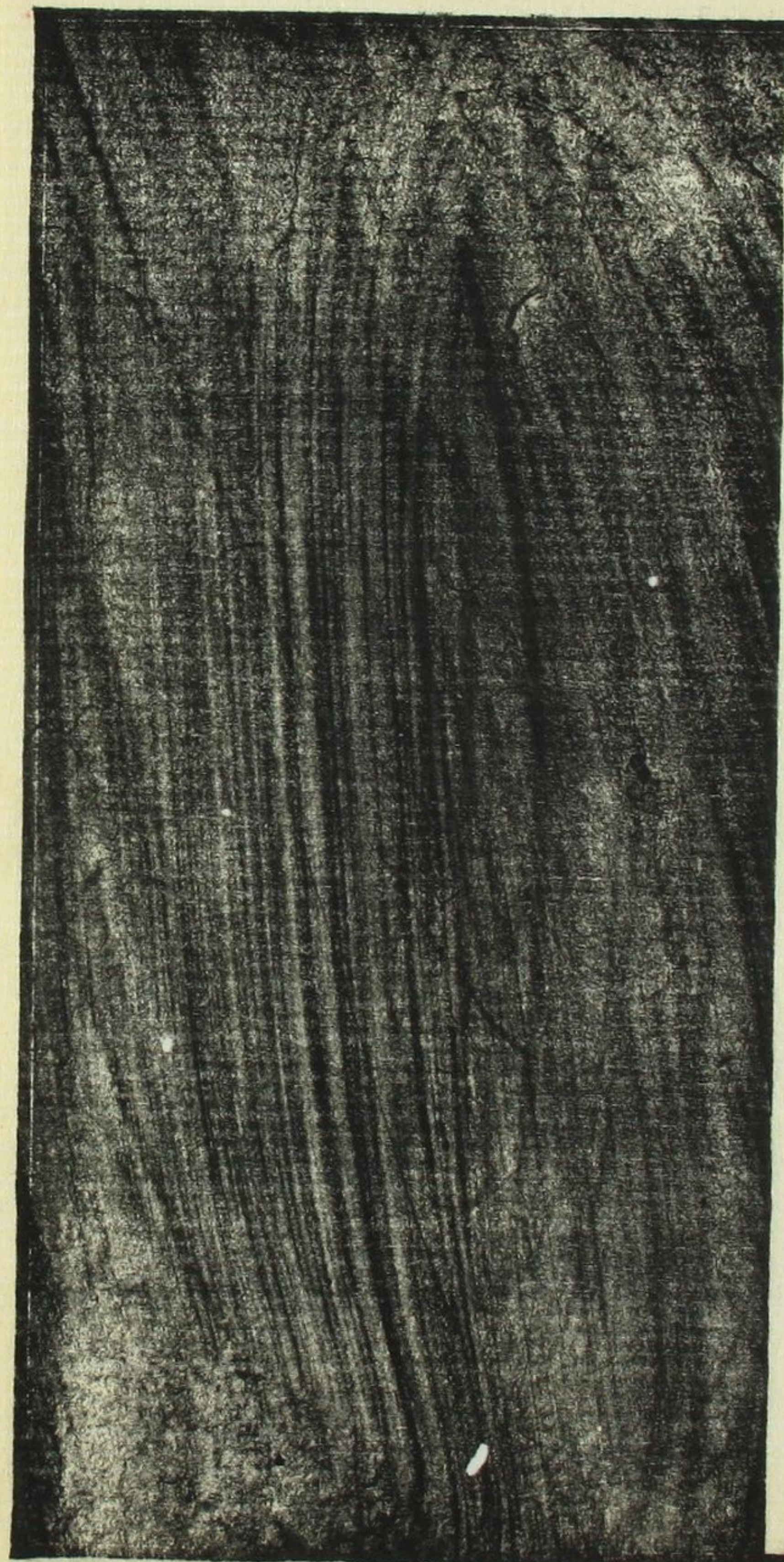
ノ多少ヲ以テ位ヲ定メ上中下ノ次第ヲワカツ

コトナリ其後又中谷顧山宇野宗明等力弄泉品

定メト云モノアリ是ハ古文錢ヲ初メニ置テ次

ニ平泉百品ヲ集メテ次第ヲナセリ是ハ年代ノ

次第ヲ論ズルニハアラズ古錢ノ多少ヲ以テ位階^{カイ}ヲ定ムルコトナリ



古文錢位階

第一

布泉

第二

五行大布

第三

大貨六銖

永安五銖

第四

半兩

常平五銖

大泉五十

第五

五銖

貨泉

平泉多少分位三段

公之座

異說

宗明私考

廣政 一番

乾封 一番

廣政

乾祐

廣政

靖康

光紹

靖康

乾祐

靖康

光紹

光紹

乾封

明德

大德

淳祐通

乾祐

淳祐通

紹豐元

至元

至元

皇恩

皇建

乾封

皇建

皇恩

大治元

大德 十番

大明 十番

永昌

大治元

龍鳳

重和

至元

大德

明德

明德

大治元

大明

身實記

卷中

二

重和

永昌

大明

龍鳳

乾亨重

壽昌

光定

卿之座

乾道

重和

永昌

紹豐元

淳祐通

壽昌

乾亨重

光定

皇元

皇恩

龍鳳

紹豐元

皇建

隆武

隆慶

大康元

天慶元

皇元

景元

大寶

隆武

咸雍

廣和

端慶

隆慶

太興平

景元

乾道

廣和

端慶

大寶

隆慶

隆武

清寧

咸雍

大寶

光定

乾道

皇元

大康通

三韓通

景元

壽昌

大治通

三十番

三十番

身集說論

卷中

三

天慶元

天慶通

乾亨重

天慶通

天慶元

大唐

清寧

天興

廣和

天興

大唐

清寧

乾統

大康元

天慶通

大康元

大康通

咸雍

大唐

乾統

端慶

大康通

大治通

宣和元

大治通

大正

太興平

大正 四十番

大興平 四十番

三韓重

大夫之座

永壽

元和 篆

慶曆

三韓通 篆

順天

天興

海東重

通正

大安

慶曆

宣和元

大正

玄聰

慶曆

乾統

宣和元 真

天佑

通正

三韓重

大義

泰昌

大安

通正

海東五十番

元和篆

東國重

紹聖通

天佑

泰昌

大義

大安

泰昌

三韓通五十番

三韓重

海東通

海東重

東國通

東國重

玄聰

永壽

元和篆

大義

海東重

東國重

海東通

天佑

順天

玄聰

東國通

順天

明宋

崇寧通李番

士之座

天定

弘光

裕民

天福鎮

永壽

崇寧通

明宋

紹聖通

漢通

天盛

天福鎮

天定

東國通

紹聖通

明宋

崇寧通

天定

弘光

裕民

天福鎮

集賢論

卷中

五

咸康	天漢	咸康	天盛	天漢	光天	漢通	至正	常平	永曆	景統
天漢	咸康	天漢	弘光	裕民	至正	唐國	景統	永曆	景統	景統
天漢	咸康	天漢	弘光	裕民	至正	唐國	景統	永曆	景統	景統
咸康	天盛	天漢	光天	漢通	至正	常平	永曆	景統	景統	景統

七十番

七十番

紹興通	開慶	紹興元	唐國	建炎通	昭武	延寧	庶人之座	端平元
常平	建炎通	紹興元	延寧	紹興通	紹武	唐國	庶人之座	周通
紹興通	開慶	紹興元	延寧	紹興通	紹武	唐國	庶人之座	端平元
紹興通	開慶	紹興元	唐國	建炎通	昭武	唐國	庶人之座	端平元

八十番

八十番

紹平

端平元

紹平

洪順

洪順

洪順

熙寧重

金世

熙寧重

洪化

光順

洪化

金世

洪德

金世

嘉靖

乾德

嘉靖

利用

熙寧重

利用

弘治

紹平

弘治

周通 九十番

嘉靖 九十番

周通

光順

利用

光順

嘉熙

洪化

嘉熙

乾德

弘治

乾德

大世

大和

大世

大宋

嘉熙

大宋

世高

大宋

世高

大和

天啓

大和

洪德

萬曆

洪德

天啓

大世

天啓

萬曆 百番

世高 百番

萬曆

元祿寶永ノ頃泉貨ヲ集メテ鬪化蝶ト名ツケテ
 コレヲタクラベルノ遊アリ其次第ノ如キハ人
 知ル者希ナリ今其式ノ大躰ヲ記シテ古ヘコノ
 樂アルノコトヲ知ラシムルノミ又化蝶類苑等
 二泉貨ノ多少ヲ以テ位ヲ定ム曰珍上上曰珍上
 曰上上曰珍曰上曰中曰下右ノ次第ヲ以テ其位

ヲワカツモノナリ

化蝶真之競

一五銖類

年代知レクルモ知レサルモ
惣シテ五銖類

一年代泉

上上泉 上泉
中泉 下泉

右四品之内一種

一年代不知品

右同斷

一未勘泉

一繪泉

以上五泉也

右真之競泉ノ次第但一通ギリニ振札ニテ古銅

出スベキ事

行之競キョウ

年代知レタルモ知レザルモ五銖類又ハ中下ト
モニ残ラズ振札次第

草之競クサノキョウ

年代知レタルモ知レサルモ五銖類又ハ上上泉
上泉中泉下泉繪泉未勘泉其外何泉ニテモ勝手
次第泉ニ嫌ナク出スベシ

化蝶競臺之極

一 布泉持タルハ

金梨子ナシ地ノ臺用ユベシ

一 五行大布持タルハ

唐木カラノ臺用ユベシ

一 大貨六銖 一 永安五銖 一 軋封泉寶

右三種持タルハ黒塗ノ臺用ユベシ

一 常平五銖 一 大泉五十

一 半兩 一 長命富貴

右四種持タルハ栗色塗クワシイロスリノ臺用ユベシ

但シ常平 大泉 半兩此三種揃ヘテ持ガ

ル者ハ白木臺用ユベシ右三種ノ上ニ長命

富貴ヲ持タル者ハ三種持ノ上座タルベキ事

右ノ外化蝶狹ニテ出ス部ハ白木臺タルベシ此ノ如ノ銘ノ次第ヲ以テ臺ノ品ヲ極ムトイヘ凡泉ノテキアシク臺ニ載ベカラザル泉ニテコレアルニ於テハ持ザルト同前ノ事也附タリデキ宜シキ泉トイヘ凡無名ノ泉ハ右同前タルベキ事

古銅包紙之次第

- 一 布泉持タルハ 惣金銀並砂子沼繪色鳥子
- 一 五行大布持タルハ 表泥繪裏砂子並色鳥子
- 一 大貨六銖 一 永安五銖 一 軋封泉寶
- 右三種持タルハ 表裏砂子
- 一 常平五銖 一 大泉五十
- 一 半兩 一 長命富貴
- 右四種持タルハ 行成紙裏砂子此外ハ 行成紙

化蝶敷之極

一布泉持タルハ

錦唐織用ユベシ

一五行大布持タルハ

金繡今織用ユベシ

一大貨六銖 一永安五銖 一軋封泉寶

右三種持タルハ繡子二種持タルハ綾一種

持タルハ純子但シ三種揃タルハ金入苦シ

カラズ二種持タル者ハ金入用捨アルベシ

一常平五銖 一大泉五十

一半兩 一長命富貴

右四種持タルハ繡珍三種持タルハ紋綸子

二種持タルハ縮緬一種持タルハ紗綾用ユ

ベシ右ノ外ハ淺黄羽二重タルベシ

袋之極

一布泉持タルハ

錦唐織

一五行大布持タルハ

金繡今織

一大貨六銖 一永安五銖 一軋封泉寶

右三種持タルハ繡子綾但シ軋封一種持ハ

純子是ヨリ以下ハ袋用ヒス服紗包タルベ

シ

服紗之極

一布泉持タルハ

紫縮緬用ユベシ

一五行大布持タルハ

紫色ヲ除キ其外何色ニテモ用ユ

一大貨六銖一永安五銖一軋封泉寶

右三種持タルハ紗綾紫色ヲ除キ其外何色

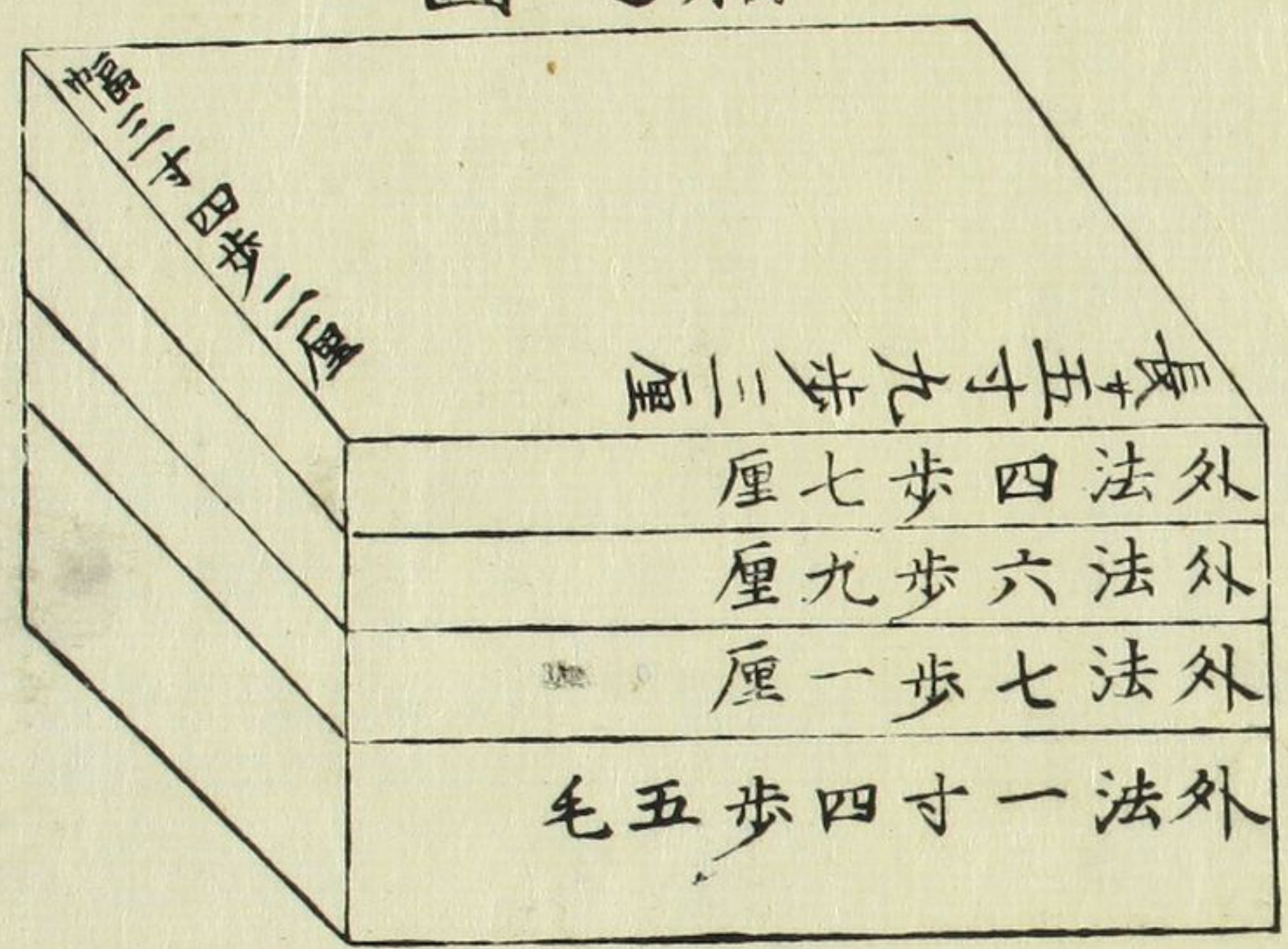
ニテモ

一常平五銖一大泉五十

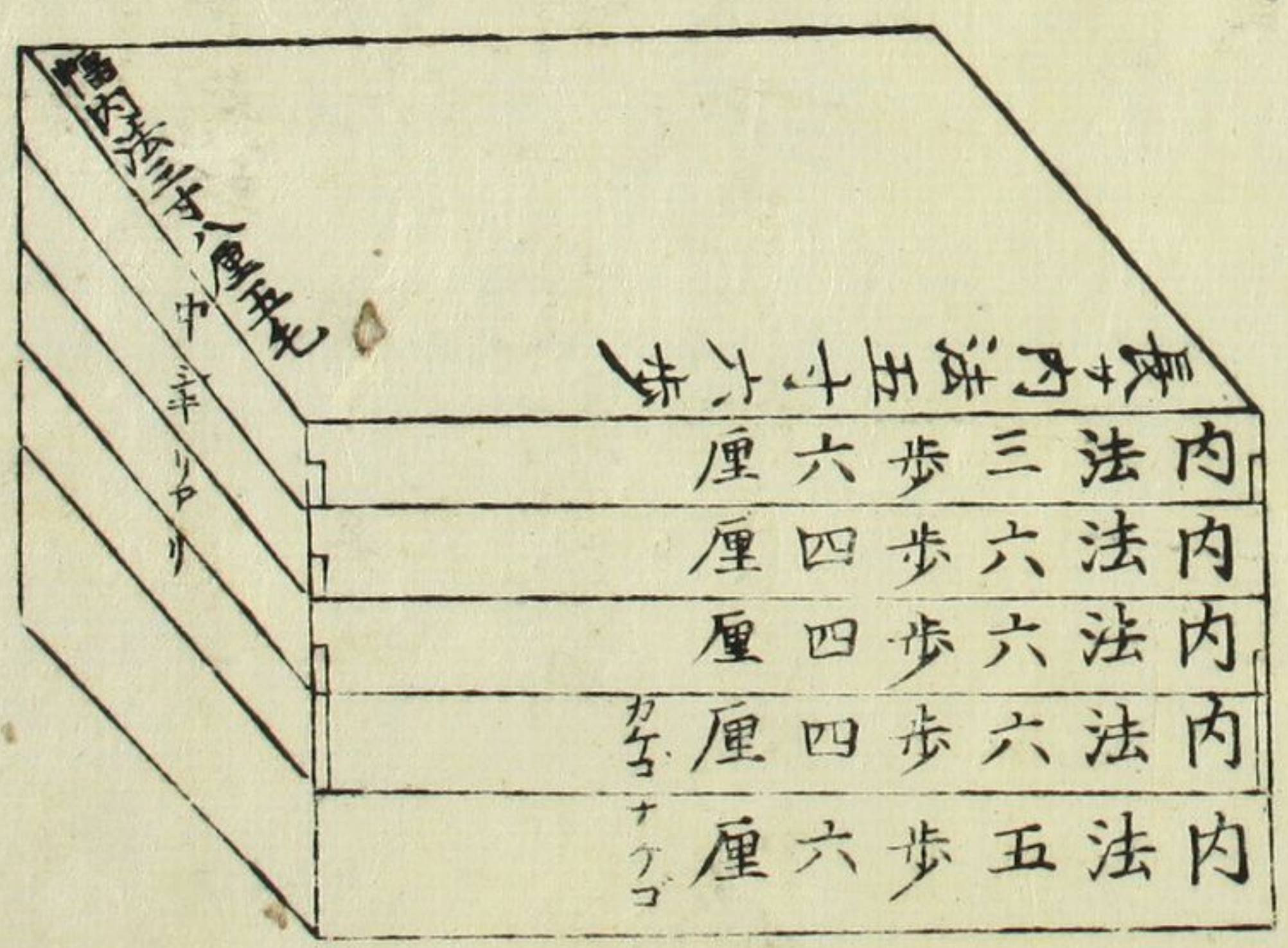
一半兩 一長命富貴

右四種持タルハ淺黄羽二重是ヨリ以下ハ

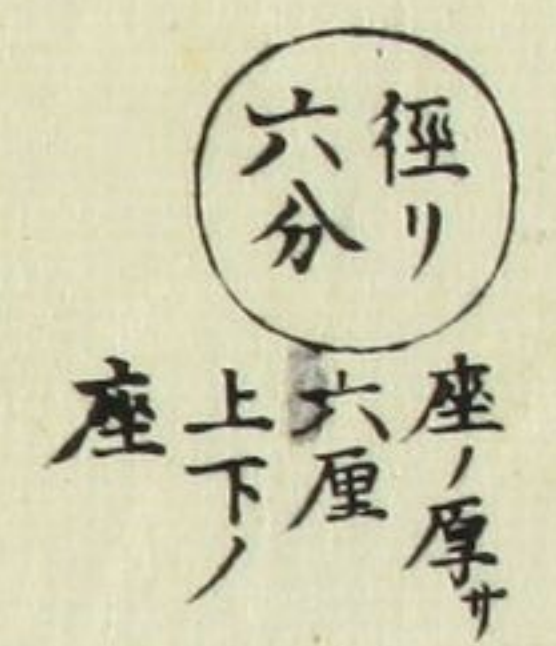
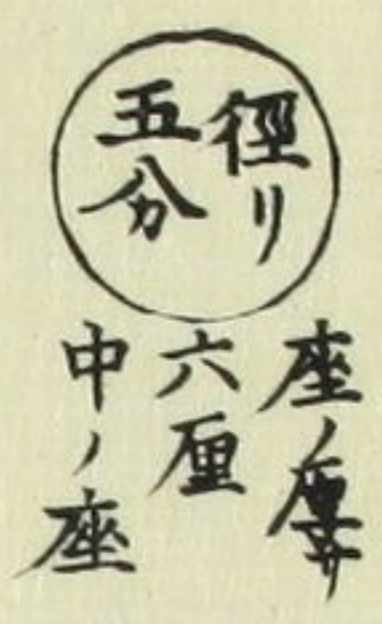
箱之圖



淺黄木綿タルベシ

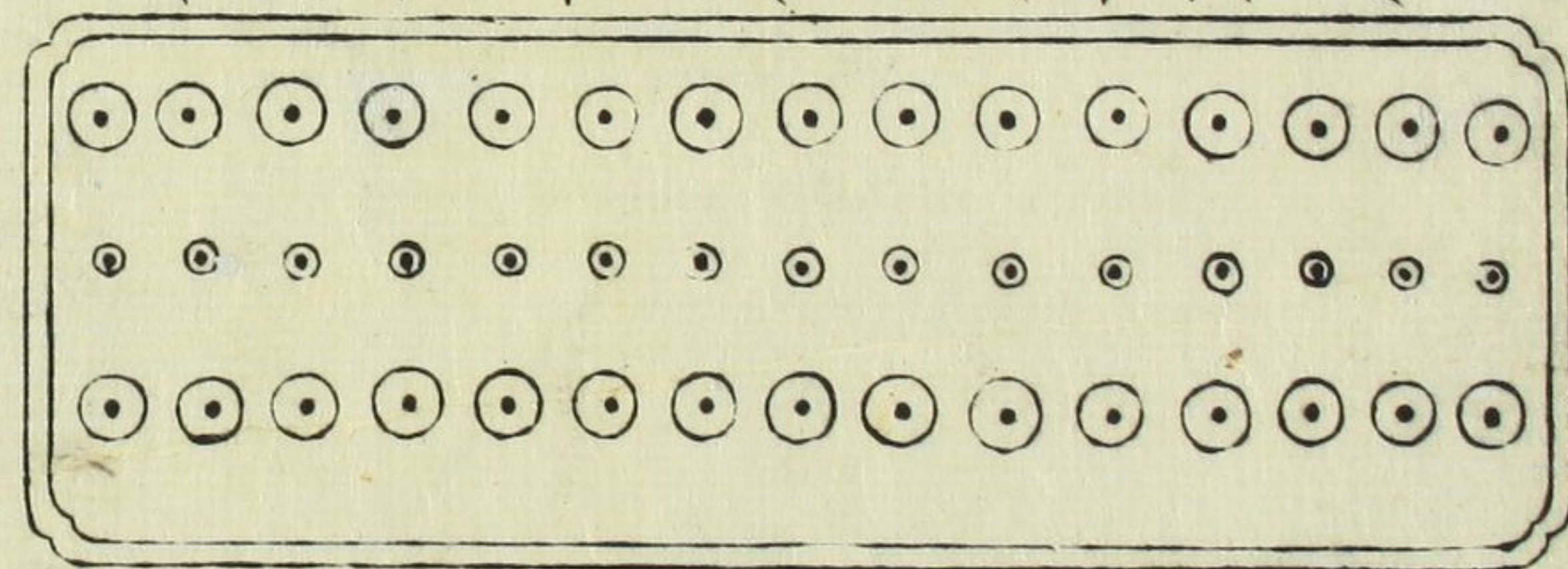


化蝶之數圖



イホ徑リ二分
イホ高サ二分
五厘

外法一尺四寸七分三厘内法一尺四寸三分三厘



惣縁外ノ高サ三分四厘五毛

縁厚二分四厘四方キテ面一
縁内法高一分二厘五毛

幅外法四寸八分三厘
内法ニテ四寸四分三厘

右花蝶ヲ鬪ハシムルノ説ハ宇野宗明ガ弄泉記ノ内ニコレアリ予コレヲ考フルニ是誠ニ兒女子ノ戲ニ似タルト雖モ左ニアラズ古ヘヲシタ
イ泉貨ヲ尊ブコト是弄泉家ノ大意泰平富饒ノ世ノ遊ナリ夫本朝ニ古銭ヲ弄スルコト足利家治世ノ頃ヨリ行レテ後世益々サカンナリ其所以ヲイカントナレバ本朝ニ泉貨ノ殘レルコト震且ノ地ヨリ多キコトアレバナリ震且ノ地ハ古ヘヨリ多ク新銭ヲ鑄テ舊銭ヲハイ

ス新舊共ニ用ユルノ世アリトイヘトモ少シ又
 震旦ノ地ハ四方地續ニシテ隣國ヘ散ヤスシ
 本朝ハ古ヘヨリ新舊共ニ通シ用ヒテ足利家治
 世ノ頃ハ專ラ宋遼金元明ノ錢貨ヲ渡來シテコ
 レヲ天下ニ敷キ用ヒ古今ツイニ舊錢ヲハイス
 ルノコトナシ又日本ノ國形ハ四方海岸ニシテ
 東隅ニヨリ泉貨ノチルベキ隣國ナケレバナリ
 此故ニ古錢ニ限ラズスベテ古物ヲ集ムルニ甚
 便ナリ又古錢ヲ翫弄スル者ニ様アリ或ハ古代

ノ泉貨世ニ希ナル者ヲ多ク得テコレヲ珍トシ
 私ニコレヲ樂ムモノアリ或ハ泉貨ヲ以テ國ノ
 存亡土地ノ貧富ヲ考ヘ政事ノ強弱世ノ盛衰等
 ヲサツシテコレヲ樂トナスモノアリ事ハニツ
 ニシテ其樂トナストコロハ一ツナリ共ニ泉貨
 ヲ愛重シ且尊敬スルノ意ニ於テ異ナルコトナ
 シ只泉貨ハ尊敬スベシミタリニスベカラス古
 今帝王ノ國ヲ治ムルニ食貨ノニツヲ以テスニ
 ツノモノナクンバ何ヲ以テカ國ヲ治メン是泉

貨ノ足レルヲ以テ王侯貴人トス泉貨ノ乏シキ
 ヲ以テ卑賤ト云泉貨ナクンバ何ヲ以テカ王侯
 モ貴カルベキ泉貨ヲ知ラサル人或ハ鐔トナシ
 或ハ錢面ニキヅヲ附ルノ者アリコレ古ヘノ帝
 王ノ國ヲ富スノ具如何ゾコレヲ破ルベキヤ此
 ノ如キノ人ハ誠ニコレ心ナキカ是易牙ガ輩ナ
 ルベシ夫泉貨ヲ尊敬セバヲノヅカラ神アリ古
 今其シルシ少カラズ
 泉貨鑑卷之十九終

泉貨鑑卷之二十

錢神論

沈括力筆談ニ曰盧山ノ太平觀ハ乃九天採訪使
 者ノ祠唐ノ開元中創建元豐二年道士地ヲ發テ
 一ノ銚ヲ得タリ封鑄甚固シ之ヲ破レハ一銅錢
 アリ文ハ應元保運ノ四字アリ以テ異トセス元
 豐四年忽于詔アリ號ヲ九天採訪使者ト進メ應
 元保運眞君ト爲ス錢文ト符同ス本觀乃其錢ヲ

以テ表シテコレヲ獻ス

趙抃チョウケン力成セイトキ都記トキニ曰イハレ嚴真觀ケンシンハ漢ノ嚴君平ケンヘイ力宅タクナ
 リ内ウチニ井イドアリ名ナツケテ通仙ツウセント云イハレ耆舊傳キキウデンニ云イハレ此
 井漢州綿竹縣ノ君平ケンヘイ力宅タク中ノ井イドト相通アイフウス近歲チカコロ
 人アリ井ヲ淘アラタテ銅錢ドウセン三文ヲ得ウケタリ徑ハジメリ二寸バ
 カリナリ因ヨツテ恍惚ウツトリトシテ安ヤスカラズ錢セニヲ井中イドノニ
 投トウズ立タチドコロニ愈イタリ

博異志ハクイシニ曰イハレ岑文本センブント云イハレ人夏ナツノヒ日山亭サンテイニ涼スミ居イ夕
 リ門カドヲ扣タク者モノアリ名ナ乗ノツテ曰イハレ上清童子セイジヤウヂウ元寶參奉ゲンホウサンボウ
 スト其姿シカタヲ見ミルニ青圓角アヲクマトカカクノ冠カズリ清青衣キヨクアヲキコロモヲ着キタリ
 童ワスノ云イハレ吾ハ漢ノ世ヨリヨリ仙人ケンジンノ果クワヲ得ウケタリトテ
 漢魏カンキノ盛衰セイスイヲ語コトル文本ケンブン其冠衣クニイノ更コトヲ問トワフ答コタヘテ
 曰イハレ僕ハ外服ホカフク圓マドカニシテ心ホウセイ方正ホウセイナリ是上清セイ五銖ゴシュノ
 服フクナリトイヘリ歸カヘル廿二門モンソトカキ外垣モトノ本モトニテ忽タチマチ

泉貨記論 卷下 二
消タリ文本其所ヲ掘リ見ルニ五銖錢アリ文本
考テ白上清童子ハ銅ノ名元寶ハ錢ノ文ナリ外
圓方心ハ錢ノ形ナリ五銖マタ錢ノ名是漢ノ
世ニ鑄ルトコロナリ文本此錢ヲ得テ後次第ニ
富貴ト成リ官中書令ニ至ル

魏郡ノ張奮本富タリ後衰テ家ヲ賣ル阿文是ヲ
買トイヘ氏家ニ崇アル故ニ移ラズ或時太刀ヲ

帶彼ノ家ニ行テ梁ニ上リ潛居タリ夜半ハカリ
二長一丈餘ノ夫出ル高冠黄衣ナリ聲ヲ上テ細
腰細腰ト呼ベハ何者カ出テ應諾ス夫ノ曰舎中
何トシテカ生人ノ氣アルヤト問ヘバ何モナシ
ト答フ彼夫去ル又高冠青衣ノ者來テ右ノ如ク
二問答ス又高冠白衣ノ者來テ右ノ如ク二問答
ス阿文夜明テ右ノ如ク問バ又答フ又問フ先ノ
人ハ何者ゾ對テ曰黄衣ノ者ハ金ナリ西壁ノ中
ニアリ青衣ノ者ハ錢ナリ堂前ノ井ノ邊リニア

リ白衣ノ者ハ銀ナリ牆東ノ北角ニアリ吾ハ杵キ子
 ナリ竈ノ下ニ居ル阿文人ヲ集メテ掘セテ見レ
 バ金銀五百斤錢千萬貫ヲ得タリ又竈ノ下ニ杵キ子
 ヲ探シ出シテ焚失ヒケレバ此ヨリ阿文大ニ家
 富家内モヤスシトナリ

唐ノ穆宗ノ時禁中ニ花開ク夜蛺蝶數萬アリ飛
 テ花間ニ集ル宮人羅中ヲ以テコレヲ撲ニ獲者トラセル

ナシ上網ヲ空中ニ張シメテ數萬ヲ得タリ遲時アホコロライ
 ニコレヲ視レバ皆庫中ノ金玉錢ナリト後ノ世
 錢ヲ化蝶トイヘルハ此故事ナリ

故事因縁集ニ曰日本天正ノ末石州市木ニ住ス
 ル貧人夢ニ此山ノ峯ニ柏樹アリ其根ニ金錢ニ
 貫壺ニ埋テアルトミタルコト三夜女房亦夢ミ
 タリ然ルヲ疑ナカラ行テ見レバ壺ニ鐵錢アリ

夫大ニ腹立シテ歸ル隣人不思議ニ思ヒ行テ見
レバ皆金錢ナリ拾ヒ取テ富貴トナル

故事因縁集ニ曰日本元和年中紀州水野氏ノ與
力平岩何某或時遠矢ヲ放ツ俄ニ大風吹テ火ナ
キニ煙起ル平岩アヤシク思ヒ烟中ニ矢ヲ放テ
バ煙忽ニ止又其所ヲ見ルニ錢數多アリ動キ踊
ルコト生ルガ如シ其錢八文ヲ取テ歸ルソレヨ

リ富貴トナル其評ニ曰錢ハ王侯大人徳ノ政
ニシテ王名年號ヲ鑄付タル者ナレバモツトモ
奇特アルベシト云ヘリ

周通元寶錢ヲト家擲錢ニ用ユルコト諸書ニ見
エタリ又狐狸ノツキタルヲ拂フ術アリ俗ニ通
天錢ト云此錢ハ五代後周ノ世宗天下ノ銅佛ヲ
毀テ鑄ル所ナレハ其奇瑞アルベシ凡テ古錢ヲ

携ル人二ハ狐狸ノ類近付コト能ハスト云ヘリ

唐國通寶ノ篆書錢ヲサスガミト云七錢ヲ以テ

邪魅妖氣ヲ拂ヒ退ク又常ニ携テ運強シ或ハ云

陰指神

富壽神寶ヲ日本サスガミト云モツトモ妙多シ

守鏡ノ下ニ納テ不祥ヲ去ル或ハ云陽指神

長年大寶 萬年通寶 長命富貴 百千長壽

萬曆通寶 福壽双泉 永壽通寶 壽昌元寶

此外長壽ノ稱アル錢ヲ産湯ニ入レハ其子長命
ナリ錢神論ニ曰朽セザルヲ壽ニカタドルトア
リ又或説ニ錢ハ仙ナリト注ス延齡無窮ノ徳ア
リトイヘリ

布泉ノ男ナシ錢ヲ佩ウケルトキハ男子ヲトコノコヲ生ウマト云傳ツトフ是
 ハマ々其奇瑞キズイヲ見タリ然レ氏布泉世ニ希ニシ
 テ得ガタシ若モシコレヲ得ザル時トキハ搨形ヲシカタヲ以テ婦
 人ニ守モリトナサシメテ可カナリ又豊貨錢ホウツヲ收ウケム
 レバ其人ヲシテ豊富ホウフナラシムト云右泉志ニ見
 エタリ

古錢七十二文ヲ檀タナ上ニ置ヲイテ北辰靈符シンレイフ神ヲ祭マツルコ
 ト鎮宅靈符チンタクレイフノ縁起エヒギニ載ス壽命ヲ祈イリ富貴ヲ需モトム
 ルコト古今コレアリ

加官進祿 且爾子孫 長命富貴

百千長壽 長生保命 福壽延長

壽福山海 金玉滿堂 福祿齊壽

此外厭勝品イヤウト云ノ類ルイ凡テ祥瑞シヤウズイ多シアケテ計ケヘ
 カタシ錢ハ古今人心ノ倚ヨルル處自然シゼンニ神シンアリ信シン
 敬ケイスベシ

右數个條ノ説ハ誠ニ空言ニ似タルトイヘ氏左
 ニアラズ古ヨリ泉貨ヲ尊敬スルコトヲ知ラシ
 メ世俗ヲシテ古今ノ珍寶ヲ破ラシメサル爲十
 リ夫錢ハ燧人氏輕重ヲ以テ天下ヲナセシヨリ
 始リ黃帝成周二至テ其法寔具リ秦漢ヨリシテ
 コノカタ錢文明ラカニ後世ニ傳フ六朝ノ頃ニ
 至テハ錢面二年號ヲ鑄ルモノ多シ年號ハス十
 ハ千世々ノ帝王ノ號ナレバモツトモコレヲ尊

敬スベキナリ如何ゾ是ヲ賤シムベキヤ然レ氏
 錢ハ上下通行シテ甚便用ナルヲ以テ世ノ人コ
 レヲ嫉ミ賤シム兒女民俗ノ如キハ言ニタラス
 大儒學者トイヘ氏是ヲワキマヘザル者多シコ
 レ其末ヲ知テ其本ヲ知ザレバナリ錢ハ日月ノ
 草木國土ヲ照シタモフガ如ク上下通和シテ貴
 キトイヘ氏恐ズ賤キトイヘ氏イトハズ世ニ行
 レテ人用ヲ便スルモノナレバ民間ニ通行シ卑
 賤ノ手ニアル時ハ貴人ノ手ニ觸ルモノニアラ

是錢貨ヲイヤシムニハアラズ貴賤ノ差別アル
 ヲエシナリ又錢貨ヲ賤シムユエシハ民俗ヲ
 シテ寶ヲムサボラシメサル為ナリタダヲシナ
 ベテ賤シキ者ノ様ニヲモヘルハ寶ヲ嫉ムニシ
 テ已ガ心ノ賤シキヨリ起レルモノナリ古錢ト
 ナツテ世ニ愛重ゼラル々ニ及テハ淳化大觀等
 ノ御書錢ハ震筆ヲ尊敬スルト異ナルコトナシ
 錢文二年號ヲ鑄ル所以ハ一ハ其時代ヲ記シ一ハ
 是ヲ尊敬サセンガ為ナリ尊敬セザレバ貨輕シ

貨輕ケレバ物貴シ物貴ケレバ上下便ナラズ此
 ノ如キコトハ古ヨリ諸書ニ記シテ大儒學者ノ
 知ラザルベキニハ非サレトモ實ヲツクスコト
 薄ク麤ヨリヲコレルナリ或人予ニ大儒ノ撰タ
 ル書ヲ見セシムルニ曰唐ノ開通元寶錢ヲ世俗
 開元通寶ト對シテ讀ハ非ナリ廻環シテ開通元
 寶ト讀ベシトアリ是笑ベキノ一ナリ既ニ唐書
 ノ食貨ニ云開元錢ヲ俗ニ開通元寶ト謂ヲ以テ
 軋封ノ新錢ヲ鑄ルニ及テ流俗ト同ジク軋字ヲ

上ニ置キ封字ヲ左ニ置ク尋テ錢文ノ誤ナルコ
 トヲサトツテ却テ舊錢ヲ用ユトアリ此ノ如ク
 開元錢ノ廻環シテ讀ニアラザルコト明ラカナ
 リ然ルヲカク言モノハ學者歷代ノ食貨志ヲ見
 ガルニハアラズ我アツカラザルコトナルガ故
 ニ其見ルコト麤畧ナレバナリ然シナガラ唐ノ
 代ニスラモナヲ官人コレヲ誤テ軋封ノ新錢ヲ
 讀トスイワンヤ日本ノ儒者ニ於テヨヤ孔子
 曰知ラサルヲ知ラズトスコレ知レルナリト學

者已ガ博學ヲタノシテ錢貨ノコトヲ論シ誤リ
 ヲ記シテカヘツテ文盲ノ弄錢家ノ笑トナル腐
 儒ノ甚シキニアラズヤ已ガアツカラザルコト
 ヲ論スルハ愚ナリ泉志ノ跋ニ博學歐公ノ如キ
 モ八分書ヲ以テ隸書トスイワンヤ其下ナル者
 ヲヤト云ヘサソレ歐氏ノ博學タニモ此ノ如キ
 ノ誤アリ然レバ古錢ノ文古ヘヨリ稱スルトコ
 ロトイヘ氏誤リナキニシモアルベカラズ泉貨
 鑑ニ出ストコロノ篆隸真楷行草八分楷トイ

へ氏皆古へヨリ云傳フルヲ以テ是ヲ名ヅク或
 ハ此ノ如キ體ヲ真ト云或ハ此ノ如キ體ヲ楷ト
 云ト其弄錢家ニ言傳フルトコロヲ以テコレヲ
 極ルモノニシテ文法書家ノ説トハ異ナルベシ
 銅器ノ文字ハ弄錢家ニ極ムベクシテ書家ノ知
 ルトコロニ非ス紙結ニ書タル文字ハ書家ニ極
 ムベクシテ弄錢家ノアヅカル所ニアラズタ、
 ワガアヅカルトコロヲ知テ他ヲ言ベカラズ我
 アヅカルトコロトイへ氏誤ナヲ多カルベシ泉

志ノ序ニ神文作巨ニ應ゼス介形誤テ安瓜ヲ釋
 ストアリ是不知年代品第三ニアル一文錢ト名
 ズクル者穿下ニ一字アリコレ古へノ神ノ字ナ
 リ誤テ巨ノ字ニ作ル刀布品ノ異布第十二アル
 者金ノ邊ニ瓜ヲ安スト云コレ介ノ字ニシテ瓜
 ニアラズ昔時ヨリ支那人トイへ氏ナヲ誤アル
 コト此ノ如シ後世ニ於テハナヲ以テ誤リ多カ
 ルベシ只ヒロク學デアツクコ、ロザシ切ニ問
 テチカク思ヒ心ニカケテ是ヲ考フルトキハヲ

泉貨鑑言
ノツカラ誤リモ少カルベキ乎

文化九甲載拾東武求之

小幡行祿

泉貨鑑卷之二十終

彩雲堂藏

古今泉貨鑑

全部十二冊

新撰泉譜

全三冊

西洋泉譜

全一冊

泉貨分量考

全一冊

弄錢寄鑑

全一冊

彩雲堂藏鑑目錄全二冊

享和四歲甲子孟春

書肆

浙江戶通油町

葛屋重三郎

